

nord piano
e i g h t y e i g h t

ユーザー・マニュアル
Nord Piano

OS Version 1.x

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートの原因があります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグが容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対に行わない。

- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- 雨天時の野外のように、湿気が多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
- 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。
- 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- 不安定な場所に置かない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品の隙間に指などを入れない。お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- 地震時は本製品に近づかない。
- 本製品に前後方向から無理な力を加えない。本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
//www.korg.co.jp/KID/

Nord Pianoユーザー・マニュアル

1 はじめに

ありがとうございます!.....	4
このマニュアルについて.....	4
OSとインターナル・メモリー.....	4
ファクトリー・プログラム.....	4
ファクトリー・プログラムに戻す.....	4
OSのアップグレード.....	4
フリー・サウンド.....	4
商標について.....	4

2 Nord Pianoについて

Nord Pianoとは?.....	5
ピアノ・ライブラリーV5.....	5
スモール、ミディアム、ラージサイズ.....	5
ストリング・レゾナンス.....	5
ペダル・ノイズ.....	5

3 オーバービュー

ノブとボタン.....	6
ノブ.....	6
セレクトボタン.....	6
On/Offボタン.....	6
Shiftボタン.....	6

4 接続する

オーディオの接続.....	7
ヘッドフォン端子.....	7
L/Rアウトプット端子.....	7
モニター・イン端子.....	7
USBの接続.....	7
MIDIの接続.....	7
MIDIイン.....	7
MIDIアウト.....	7
譜面立て.....	7
ペダルの接続.....	8
ピアノ・ペダル.....	8

5 使い始める

プログラムについて.....	9
プログラムを選択する.....	9
プログラムをエディットする.....	9
メモリー・プロテクト.....	9
プログラムを保存する.....	9
ライブ・モード.....	10
ピアノを選択する.....	10
トランスポーズ.....	10
エフェクトをかける.....	10
ワウ・エフェクトを使ってみる.....	10
アンプ・エミュレーションをオンにする.....	10
アコースティック.....	11
キーボード・タッチ・セッティング.....	11

6 Nord Pianoリファレンス

マスター・レベル.....	12
MIDIインジケーター.....	12
シフトボタン.....	12
プログラム・バンク・セクション.....	12
UP/DOWNボタン.....	12
ディスプレイ.....	12

ストアボタン.....	12
別名で保存(STORE AS).....	12
ライブ・モード.....	13
プログラム1~5ボタン.....	13
パニックボタン.....	13
ピアノ・セクション.....	13
ピアノタイプ.....	13
ピアノモデル.....	13
トランスポーズ・セット.....	13
トランスポーズ・クリア.....	14
キーボード・タッチ.....	14
モノアウトプット.....	14
アコースティック.....	14
ストリング・レゾナンス.....	14
ペダル・ノイズ.....	14
エフェクト.....	14
エフェクト1&2.....	14
エフェクト1.....	15
エフェクト2.....	15
イコライザー.....	15
アンプ/コンプレッサー.....	15
リバーブ.....	15

7 メニュー

システム・メニュー.....	16
メモリー・プロテクト.....	16
ファイン・チューン.....	16
グローバルトランスポーズ.....	16
MIDIメニュー.....	16
MIDIチャンネル.....	16
ローカル・コントロール.....	16
コントロール・チェンジ・モード.....	16
プログラム・チェンジ・モード.....	16
セプト・コントロール.....	16
ダンプ・ワン.....	16
ダンプ・オール.....	16
サウンド・メニュー.....	17
ペダル・ノイズ・レベル.....	17
ストリング・レゾナンス・レベル.....	17
ペダル・メニュー.....	17
ピアノ・ペダル.....	17

8 Nord Sound Manager

動作環境.....	18
インストールする.....	18
USBドライバーのインストール.....	18
Sound Managerのインストール.....	18
オーバービュー.....	18
ツールバー.....	19
タブ.....	19
パーティション・メモリー・インジケーター.....	19
右クリック.....	19
ファイル・フォーマット.....	19
クイック・ツアー.....	20
ピアノ・ファイルをNord Pianoに転送する.....	20
ピアノ・ファイルを消去する.....	20
新しいサウンドをダウンロードする.....	20
Nord Pianoからサウンドをアップロードする.....	20
パーティション全体をアップロードする.....	20
サウンドをNord Pianoにダウンロードする.....	20
プログラム・パーティションをオーガナイズする.....	21
サーチ・ボックスで検索する.....	21

オート・セレクト.....	21
Sound Managerリファレンス.....	21
ツールバー.....	21
メニュー.....	22
ファイル・メニュー.....	22
エディット・メニュー.....	23
ビュー・メニュー.....	23
ヘルプ・メニュー.....	23
タブ.....	23
ピアノ・プログラム.....	23
サーチ・ボックス.....	23
ロケーション(Loc).....	23
ネーム.....	23
カテゴリ.....	23
サイズ.....	23
バージョン・ナンバー(Ver).....	23
インフォ.....	23
フッタ・エリア.....	24
パーティション・メモリー・インジケーター.....	24
キャンセルボタン.....	24
プログレス・バー.....	24
メッセージ/テキスト・エリア.....	24
新しいツール、新しいサウンド.....	24

9 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて.....	25
ノート・オン/オフ.....	25
コントローラー.....	25
キーボード・ベロシティ.....	25
プログラム・チェンジ.....	25
MIDIシステム・エクスクルーシブ.....	25
Nord Pianoをシーケンサーで使用する.....	25
シーケンサーと接続する.....	25
ローカル・オン/オフ.....	25
MIDIチャンネル.....	25
プログラム・チェンジ.....	25
コントローラー.....	25
コントローラーの「チェイス」機能について.....	25
プログラムとコントローラーのダンプ.....	26
プログラム・ダンプを送信する.....	26
MIDIコントローラー・ダンプを送信する.....	26
MIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンプを受信する.....	26
MIDIコントローラー・リスト.....	26
MIDIインプリメンテーション・チャート.....	27

10 仕様

Nord Piano仕様.....	28
-------------------	----

11 索引

索引.....	29
---------	----

1 はじめに

ありがとうございます!

このたびはNord Pianoをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の開発にあたって私たちが心に決めたゴールは、可搬性に優れたベストのプロフェッショナル・ステージ・ピアノを作り上げることでした。この楽器を存分にお楽しみいただけること、それが私たちにとって何よりの喜びです。

このマニュアルについて

新しい楽器を手に入れたら、いますぐに使ってみたくてうずうずするのは誰でも同じかと思います。私たちがその気持ちを冷めさせてしまおうなどということとは考えておりません。ですからこのマニュアルの最初から数ページ分で本機の使い方に関する基本的なことをご説明致します。それ以降は本機のすべての機能を詳しくご紹介するページになっております。

OSとインターナル・メモリー

Nord Pianoのオペレーティング・システム、プログラム、ピアノ・サウンドはフラッシュ・メモリーに入っています。フラッシュ・メモリーは本体の電源が切れている状態でもメモリー内容を保存しておけるスグレモノです。また、保存してあるデータをいつでも入れ替えることができるのもフラッシュ・メモリーの大きな利点です。つまり、Nord Pianoのオペレーティング・システム、ピアノ・サウンドやプログラムをコンピュータ経由で更新することができるのです。Nord PianoのUSB端子を使って新しいピアノ・サウンドを素早く、しかも簡単に更新できます。

ファクトリー・プログラム

Nord Pianoのインターナル・プログラム・メモリーには24バンク×5プログラムの、合計120プログラムがあります。加えて、5つのライブ・パッファ・メモリーがあります。これは、プログラムの内容を変更するとすぐに自動的に保存され、本体の電源を切ってもキープできるメモリーのことです。

Nord Pianoの120個のプログラムはすべて書き換えが可能です。残しておきたいプログラムを誤って上書き保存してしまっても良いように、プログラムのバックアップをコンピュータに定期的にとっておきましょう。この操作は、Nord Sound Managerアプリケーションを使って行えます。

ファクトリー・プログラムに戻す

ファクトリー・プログラムとピアノ・サウンドはNord Sound Managerのバックアップ・ファイル形式でNord ウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からダウンロードできます。また、本体に付属のNord Piano DVDにも収録されています。

OSのアップグレード

Nord Pianoの最新OSはwww.nordkeyboards.comからダウンロードできますので、OSを最新の状態でいつもお使いいただけるよう、定期的にウェブサイトへ立ち寄りみてください。

フリー・サウンド

Nord Pianoはいわゆる「オープン・システム」を採用していますので、本体に内蔵の各サウンドはNord Sound Managerアプリケーションを使って自由に入れ替えることができます。

また、Nord Pianoは常に種類を増やしているNord Piano Libraryとの互換性があります。このライブラリーにあるピアノ・サウンドの多くはNord Pianoに付属のDVDに収録されていますが、新しいサウンドはウェブサイト(www.nordkeyboards.com)から無料でダウンロードできます。これでまたNord ウェブサイトにアクセスしたくなりますね。

商標について

本マニュアルに記載の製品名やブランド名は各所有者の商標であり、弊社とはいかなる関係もありません。また、その製品名やブランド名などの商標は、本機のサウンドを説明するためにのみ使用しています。

2 Nord Pianoについて

Nord Pianoとは？

素晴らしいピアノ・サウンドと最大限の表現力。Nord Pianoをひとりで表せばそうなります。妥協をせずに厳選された極上のピアノやハープシコード・サウンドを、その楽器本来のフィール、自然なタッチでお楽しみいただけます。Nord Pianoをさらに素晴らしい楽器として活用していただけるよう、いくつかの大きな特長をご紹介します：

ピアノ・ライブラリーV5

Nord PianoはNord Piano Libraryにあるピアノ・サウンド・バージョン5と互換性があります。このライブラリーは膨大な時間を費やしてNord Pianoの諸機能に合わせて作成したものです。

付属DVDにはピアノ・サウンドがカテゴリごとに分類し、グランド・ピアノやアップライト・ピアノについてはメモリー容量の異なるバリエーションも収録されています。また、新しいサウンドはウェブサイト(www.nordkeyboards.com)から無料で入手できます。

スモール、ミディアム、ラージ・サイズ

3種類のサイズはすべて同じ数のペロシティ・レイヤー、サンプル・ポイントで構成されています。つまり、すべてのピアノ・サウンドの基本的なサウンドと表現力はどのサイズのサウンドでも納得のクオリティだということです。

スモールは基本的なサウンド・クオリティと表現力をキープしたまま、最小限のメモリー・サイズで構成したバージョンです。スモール・サイズではストリング・レゾナンス・サンプルを使用していませんので、このサイズのピアノを選択した場合はストリング・レゾナンス機能は使用できません。

ミディアム・サイズではペダル・ダウン・ストリング・レゾナンス・サンプルを、重要な中音域にのみ使用し、最低音域や最高音域では省略してメモリー・サイズと機能の良いバランスを確保したバージョンです。

ラージ・サイズではペダル・ダウン・ストリング・レゾナンス・サンプルをすべての音域で使用したフル・バージョンです。従ってメモリー・サイズもラージです。

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスとは、アコースティック・ピアノの本体内で発生する音響的な現象で、演奏中の音程と、ピアノ内部に数多く張られている弦の基音や倍音のピッチが共鳴するものです。

Nord Pianoのアコースティック・ピアノ・サウンドでこの機能をオンにすると、実際のピアノ(グランド・ピアノやアップライト・ピアノ)内部で発生する豊かな音響が再現されます。

この機能はミディアムやラージ・サイズのピアノで有効で、特にサスティン・ペダルを踏んだ時に分かりやすいでしょう。サスティン・ペダルを踏んだ時はすべての弦のダンパーが外れることにより、ペダルで伸ばしている音にピアノのすべての弦による豊かな共鳴音がプラスされます。

また、ストリング・レゾナンス機能ではクレシェンド効果を演出することも可能で、同じ鍵盤を同じ強さで繰り返し演奏すると、そのサウンドに変化が起きます。これは最初の打鍵により既に振動している弦をさらなる打鍵によって異なる位相で弦を振動させることを再現したもので、Nord Pianoのピアノ音の音量と音色が微妙に揺れるような素晴らしい効果を生み出します。

ペダル・ノイズ

Nord Pianoに付属のPiano Pedalには、本物のダンパー・ペダルのようなメカニカル・ノイズのダイナミック・コントロールやハーフ・ペダリングのテクニクが使える、これまでになかった機能を実現しています。

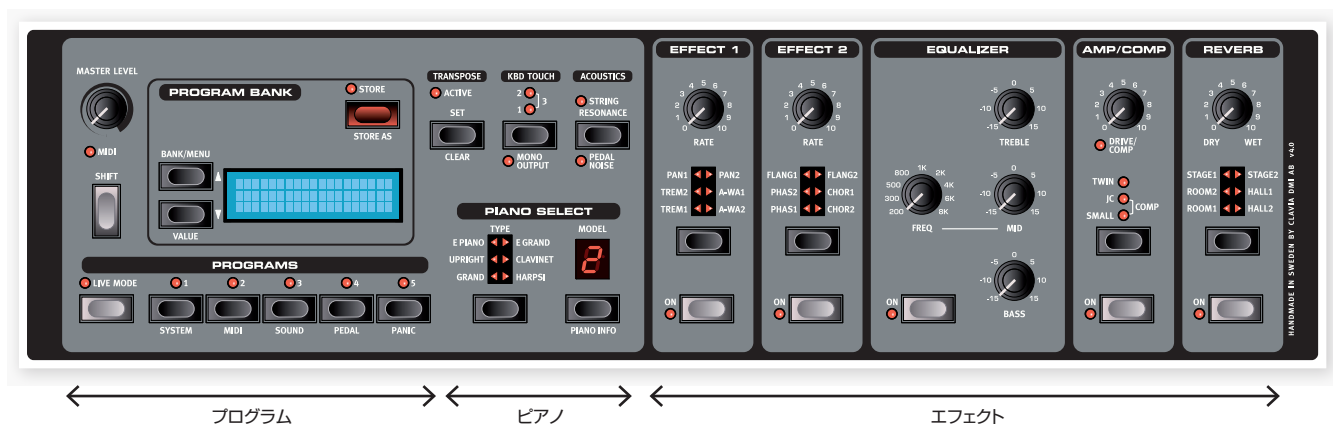
アコースティック・ピアノのサスティン・ペダルを踏むと、サスティン機構のパーツから様々なサウンドが発生します。Nord Pianoでは、これらのサウンドのうち、主なものを再現しています。

アコースティック・ピアノでは、サスティン・ペダルを踏むとダンパーが弦から離れます。その時に心地よいノイズが聞こえます。ペダルから足を離すとダンパーは再び弦の上に「着地」します。この時にもその「着地」音が出ます。また、アコースティック・ピアノのサスティン・ペダルは機械式ですから踏んだり話したりする時の力の入れ具合で発生するサウンドが異なりますし、ペダルから足を滑らせるようにして離せばペダルはフルパワーで戻りますので、その時にペダル機能のスプリング同士で発生するノイズは聞き取りやすい音量のものになるでしょう。

また、ペダルを最大に踏み込むと「フロア・サウンド」と呼ばれる音も聞こえます。ペダルを踏み込んで、一旦少しペダルを戻してから改めて踏み込み直すとその音がよく聞き取れます。

ペダルを戻してすぐさま再びペダルを踏み込むと、とてもリッチなサウンドが聞こえます。さらに別のサウンドで「ストップ」と呼ばれるサウンドがありますが、この音を出すには大きなペロシティが必要ですので足はペダルの上で待機しておく必要があります。

3 オーバービュー



Nord Pianoのフロント・パネルにはプログラム、ピアノ、エフェクトの3つのメイン・エリアがあります。ここではそれぞれのエリアを簡単にご紹介するに留め、それぞれの詳細な機能は次章でご説明します。

パネルの左上にはマスター・レベル・ノブがあります。これはL/R2つのアウトプットやヘッドフォン端子から出力されるNord Piano全体の音量を調節します。

プログラム・バンク・セクションにはディスプレイがあり、プログラムの選択や保存、システムやサウンド、MIDIやペダルに関する諸機能の設定を行います。このエリアの詳細は14ページをご参照下さい。

パネルの中央部に目を移しましょう。ディスプレイの左側、ここにはピアノ・サウンドを選択するピアノ・セクションがあります。

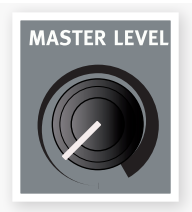
エフェクト・セクションはその名の通りエフェクト機能をコントロールするセクションです。詳しくは14ページ以降をご覧ください。

ノブとボタン

ノブ

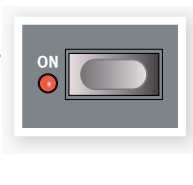
ノブはNord Pianoのパラメーターのうち、連続的に変化するものに対して使用します。

- ① プログラムを選択(ロード)した時、ノブの向きがプログラム上のパラメーターの設定とは異なる場合があります。この時、ノブを回すとすぐにパラメーターの設定がノブの向きをキャッチし、ノブの動きと一致して変化します。



On/Offボタン

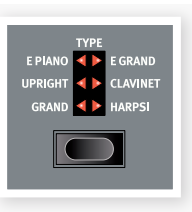
On/Offボタンはパラメーターやエフェクトなど複数のパラメーターを一括してオンまたはオフにする時に使用します。



セレクター・ボタン

セレクター・ボタンは複数の選択肢から1つを選択する時に使用します。セレクター・ボタンの周辺には丸形または三角形のLEDが配置され、現在選択している状態を表示します。ボタンを数回繰り返して押すことで選択肢を循環するように選択できます。

- ☀ (SHIFT) ボタンを押しながら(TYPE) ボタンを除くセレクター・ボタンを押すと、選択肢を反時計回りに循環して選択できます。



Shiftボタン

ボタンの中には本来の機能とは別に、(SHIFT) ボタンを押しながらそのボタンを押すことで動作するもう一つの機能を割り当てられているものもあります。その「もう一つの」機能名はボタンの下にプリントされています。また、(SHIFT) ボタンは(UP/DOWN) ボタンと併用してシステムやMIDI、サウンドの各メニューの設定を変更する時にも使用します。



- ☀ (SHIFT) ボタンを押しながらノブを回すと、そのパラメーターの設定値を変更することなく、その設定値をディスプレイに表示させることができます。

4 接続する



オーディオの接続

ヘッドフォン端子

ヘッドフォンを使用する時に接続します。1/4インチ・ステレオ・ジャック仕様です。

L/Rアウトプット端子

L/Rアウトプット端子はアンバランス仕様のライン・レベル出力です。アンプやレコーディング機器に接続します。ジャックは1/4インチ標準ジャックです。

Nord PianoはL/Rそれぞれのオーディオ・チャンネルを使用しているステレオ出力の楽器です。本機のピアノ・サウンドを十分にお楽しみいただけるよう、L/Rアウトプット端子を両方とも使用してステレオ環境でご使用下さい。

オーディオを接続する時の原則：

- 接続をすべて完了してからアンプの電源を入れます。
- 電源を入れる時はアンプの電源を最後に入れます。
- 電源を切る時はアンプの電源を最初に切ります。

△ 大音量でのご使用は、難聴など聴覚に異常を引き起こすことになる場合がありますのでご注意ください。

モニター・イン端子

モニター・イン端子は、mp3プレイヤーやCDプレイヤーからのオーディオ信号をNord Pianoのヘッドフォン端子に流す時に使用します。CDなどの音楽に合わせてNord Pianoをヘッドフォンでモニターしながら演奏する際に便利です。

- ❶ モニター・インに入った信号はNord Pianoのエフェクト・セクションやL/Rアウトプット端子には流れません。

USBの接続

USBの接続は、Nord Pianoとコンピュータを接続してNord PianoのOSアップデートやピアノ・サウンドを追加したり入れ替えたりする時に行います。コンピュータはNord PianoのOSアップデートを行う際に使用したり、Nord Sound Managerを使う時に使用します。

Nord PianoではMIDIデータをUSB端子経由で送受信することが可能です。詳しくは、MIDIの章をご参照下さい。

- ❶ Microsoft Windowsのコンピュータをご使用の場合は、コンピュータにUSBドライバをインストールする必要があります。USBドライバのインストーラーは、付属のNord DVDまたはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)から入手してください。

MIDIの接続

MIDIイン

外部機器やMIDIキーボード、コンピュータからNord PianoにMIDIデータを受信する時に使用します。

MIDIアウト

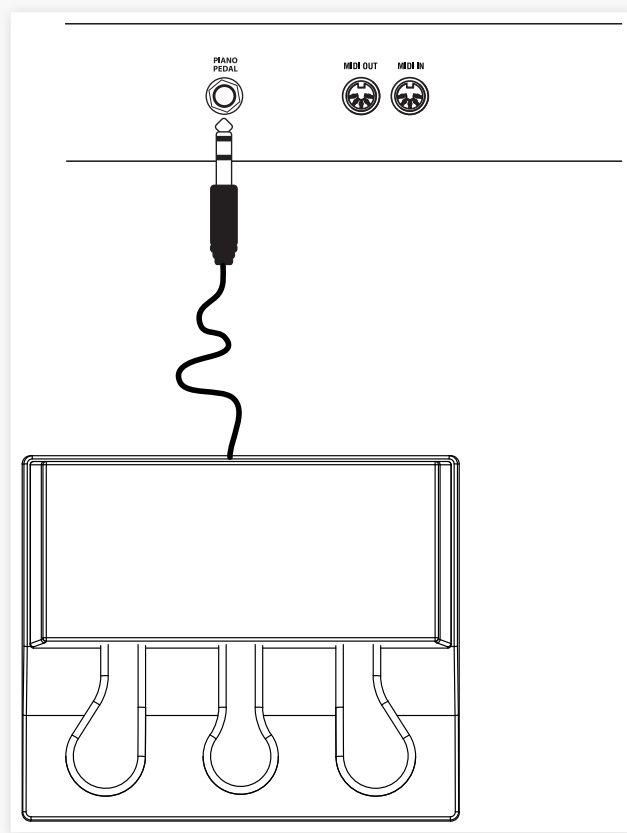
Nord PianoのキーボードやパネルのMIDIコントロール信号を音源モジュールなどの外部機器やコンピュータへ送信する時に使用します。

譜面立て

Nord Pianoのリア・パネルには譜面立て(オプション)を取り付けるための2つのブラケットがついています。

ペダルの接続

Nord Piano Pedalをピアノ・ペダル端子(PIANO PEDAL)に接続します。Nord Piano Pedalを使用できない場合は、一般的なサステイン・ペダルを接続できます。



- 1 Nord Piano Pedalの1/4インチ・ステレオ・コネクタをNord Pianoの(PIANO PEDAL)端子に接続します。

ピアノ・ペダル

Nord Piano Pedalには3本ペダル仕様です。

右のペダルはサステイン・ペダルです。このペダルを踏んでいる間は、すべての音がペダルから足を離すまで伸びます。また、このペダルを踏むことでペダル・ノイズ機能を使用することができるほか、ペダルを完全に踏み込まないハーフ・ペダリングのテクニックを使うことも可能です。

左のペダルはソフト・ペダルです。いわゆる「ウナ・コルダ(una corda)」で使用するペダルです。このペダルを踏むと音量がわずかに下がり、少しやわらかな音色になります。

中央のペダルはソステヌートです。このペダルを踏むと、特定の鍵盤の音だけサステインをかけ、その他の音にはサステインがかからないことができます。このペダルを踏んでいる時に演奏した鍵盤の音にだけサステインがかかります。その他の音はサステインがかかっていない状態で演奏できます。

- ① Nord Piano Pedalをお持ちでない場合は、市販のサステイン・タイプ、またはフットスイッチ・タイプのペダルを使用することができます。この場合、Nord Pianoの動作を最適化するために、ペダル・メニューで設定を行う必要があります。詳しくは、17ページをご参照下さい。

5 使い始める

Nord Pianoの各部の機能をご紹介します。Nord Pianoのフロント・パネルはライブなどのシチュエーションでも使いやすいように配置されています。Nord Pianoの多くの機能をご紹介しますこの短い章をご一読いただき、Nord Pianoに親しんでいただければ幸いです。

プログラムについて

パネル上のすべてのセッティングはプログラム・メモリーに保存されます。プログラムは各バンクに5プログラム、24個のバンクで120個のプログラムになります。すべてのプログラムはエディットができ、書き替えることも可能です。ファクトリー・プログラム(工場出荷時のプログラム)のセットは付属のNord DVDに収録されています。また、Nordウェブサイトからダウンロードすることもできます。

プログラムを選択する

プログラムは、ディスプレイの下にある5つのプログラム・ボタンを押して選択します。ディスプレイの左にある〔UP/DOWN〕ボタンを繰り返し押し続けてバンクの切替をします。バンクを切り替えると、そのバンクに入っているプログラムが即座に5つのプログラム・ボタンにロードされます。

〔UP/DOWN〕ボタンを長押しすると、バンク・ナンバーがスクロールします。



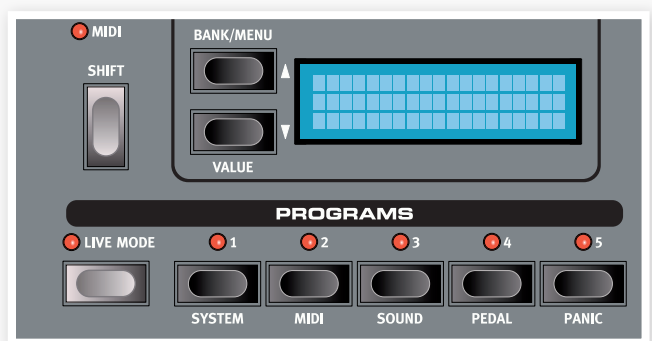
プログラムをエディットする

プログラムのエディットは、ノブを回して音色を調節したり、ボタンを押してセッティングを切り替えるのと同じぐらいに簡単に行えます。ノブの向きはプログラムの設定値とは必ずしも一致していませんが、ノブを回すことによりそのパラメーターの値がノブの向きをすぐにキャッチし、ノブの向きと一致して値が変化します。

プログラムをエディットすると、ディスプレイに表示されているプログラム名とともにアスタリスク(※印)が表示されます。これは現在使用中のプログラムがエディットされていることを示していますので、保存をしないまま別のプログラムを選択するとエディットした内容は失われ、再び元のプログラムを選択した時にはエディットをする前の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。

メモリー・プロテクト

プログラムをエディットして満足の行くサウンドが得られましたら、次の作業はプログラムの保存になりますが、その前にメモリー・プロテクト機能をオフにします。



- 〔SHIFT〕と〔SYSTEM〕ボタンを押しながら〔UP/DOWN〕ボタンを使ってメモリー・プロテクト・モード(Memory Protect Mode)のページを開きます。このページはシステム・メニューの最初にあります。
- 〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔DOWN〕ボタンを押してメモリー・プロテクトをオフにし、〔SHIFT〕ボタンをもう一度押してシステム・メニューから抜けます。

メモリー・プロテクトの設定は、Nord Pianoの電源を切っても保存されます。

プログラムを保存する

プログラムを保存してみましょう。

- 〔STORE〕ボタンを一回押します。
〔STORE〕ボタンのLEDが点滅し、メモリー・ロケーション(番号)がディスプレイに表示されます。
- エディットしたプログラムを元のプログラム番号に上書きしたい場合は〔STORE〕ボタンをもう一度押します。
- エディットしたプログラムを別のロケーションに保存したい場合は、バンク・ボタンとプログラム・ボタンを使用して保存したいロケーションを選択します。

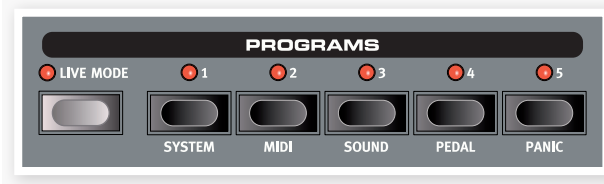
保存先になるプログラム名がディスプレイに表示され、そのプログラムを演奏して音やそのセッティングを確認することができます。これは、消去したくないプログラムに誤って上書き保存してしまうことを防ぐためです。

- ④ (STORE) ボタンをもう一度押して保存して良いかどうかを確認します。

これでエディットしたプログラムが選択したロケーションに保存されます。

- ❶ 保存の操作を途中でキャンセルしたい場合は、バンク、ライブ・モード、プログラムの各ボタン以外のボタン(どれでも構いません)を押します。
- ❷ メモリー・プロテクトがオフの状態です(STORE) ボタンを2度素早く押すと、プログラムは元のままのロケーションに保存されます。

ライブ・モード



ライブ・モードは、5つの「ライブ・プログラム・メモリー」とも呼びます。[LIVE MODE] ボタンを押すとライブ・モードに入り、パネルのセッティングを変更するとすぐにその変更が保存されます。また、電源を切ったり、別のプログラムを選択してもその変更内容は保存されていますので、次に電源を入れた時やそのライブ・プログラム・メモリーに戻った時にはその変更内容が反映されたプログラムが呼び出されます。

ライブ・メモリーに入っているプログラムを通常のプログラムに保存したい場合は、「プログラムを保存する」の手順で保存できます。また、通常のプログラムを5つのライブ・プログラム・メモリーのどれかに保存することも可能です。その際には保存されるライブ・メモリーのロケーションに上書き保存されます。

ピアノを選択する

- ① (PIANO TYPE) セレクター・ボタンを繰り返し押すと6種類のタイプが切り替わります。
- ② 「GRAND」を選択して(PIANO MODEL) ボタンを押すと、グランド・ピアノのバリエーションを選択できます。



- ③ 今度は (PIANO TYPE) セレクター・ボタンで「E PIANO」を選択します。

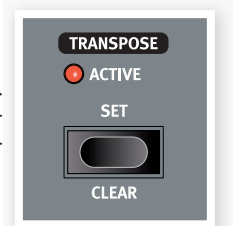
(PIANO MODEL) セレクター・ボタンは(PIANO TYPE) セレクター・ボタンで選択したピアノのタイプのバリエーションを選択する時に使用します。

- ④ (PIANO MODEL) セレクター・ボタンを繰り返し押すとエレクトリック・ピアノのバリエーションを選択できます。

トランスポーズ

[TRANPOSE] ボタンを押しながら(UP/DOWN) ボタンを操作してNord Pianoを半音単位でトランスポーズ(移調)させることができます。トランスポーズできる範囲は上下6半音までです。トランスポーズの状態をプログラムに保存させることも可能です。

- ❶ Nord Pianoで発音できる音域には限度があります。詳しくは14ページをご覧ください。



エフェクトをかける

- ① プログラムを選択します。例として1:1 Grand Pianoを選択します。
- ② (EFFECT 2) ボタンを押し(ONのLEDが点灯します)、(EFFECT 2) セレクター・ボタンを繰り返し押します。

セレクター・ボタンを押すたびに、エフェクト・タイプのLEDが時計回りに巡回して点灯します。

エフェクトのタイプによっては、エフェクトの深さが異なる3つのタイプに分かれているものもあります。例えば「FLANG 1」は最も軽いタイプのフランジャーで、「FLANG 2」はもう少し深いタイプです。そして「FLANG 1」と「FLANG 2」の両方のLEDが点灯している時は最も深いタイプのフランジャーが選択された状態になります。

- ③ (RATE) ノブを回してみます。選択したエフェクトのうねりの周期が変化します。
- ④ (SHIFT) ボタンを押しながらエフェクト・セレクター・ボタンを繰り返し押すと、エフェクト・タイプが巡回して切り替わる方向が通常の逆の反時計回りになります。
- ⑤ エフェクトをオフにします。

エフェクトがオフの状態でもエフェクト・セレクター・ボタンでエフェクト・タイプを切り替えることができます。この時、エフェクトはオフになっていますから音色に変化は起きません。

☀ この方法は、演奏中の音色に影響を与えることなくエフェクト・タイプを選んでおきたい時に便利です。

ワウ・エフェクトを使ってみる

- ① 「EFFECT 1」をオンにして「A-WA 1」を選択します。「A-WA」はオート・ワウ(音量変化に応じて変化するワウ・エフェクト)です。
- ② エフェクト1のノブを回しつつ、ペロシティに変化をつけて演奏してみましょう。

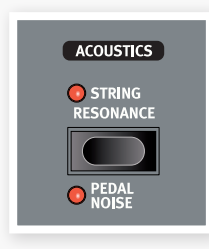
アンプ・エミュレーションをオンにする

- ① [AMP/COMP] ボタンを押してアンプ・エミュレーションをオンにします。[SPEAKER/COMP] LEDが点灯します。
- ② セレクター・ボタンを繰り返し押すとタイプが巡回して切り替わります。ノブは3種類のアンプのドライブの深さ、コンプレッサーの深さ(コンプレッサー選択時のみ)を調節します。



アコースティックス

- ① (PIANO TYPE)セレクトターでグランド・ピアノを選択します。
- ② (ACOUSTICS)ボタンを押してストリング・レゾナンス機能をオンにします。
- ③ 左手でコードを弾き、そのままの状態でも音が減衰していく中で右手でスタカートで何音か弾いてみます。すると左手で押さえているコードの音の一部が右手で弾いた音に反応して共鳴しているのが聴き取れます。



ストリング・レゾナンスはピアノの弦が他の鍵盤(弦)の音に反応してその基音または倍音が共鳴する音響的な現象のことです。

この機能がオンの時は、演奏中のすべての音が互いに反応して共鳴し合い、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの中で実際に起きている現象を再現することができます。

- ④ (SHIFT)ボタンを押しながら(ACOUSTICS)ボタンを押すとペダル・ノイズ機能がオンになります。
- ⑤ 鍵盤では何も弾かずにNord Piano Pedalを強さを変えながら踏んでみましょう。ペダル・ノイズの音が踏む強さで変化するのが聴き取れます。

ペダル・ノイズ機能をオンにすることで、アコースティック・ピアノやエレクトリック・ピアノの機械式ペダルから発生するノイズを再現することができます。Nord Piano Pedalはペダルを踏む強さによってノイズの音量をコントロールできるダイナミックなペダルなのです。

さて、この「クイック・ツアー」も終点に着きました。ここまででNord Pianoの機能の概略や使い方をお分かりいただけたかと思います。

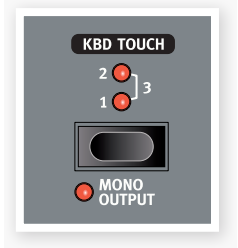
次のページからはリファレンス編がスタートし、その次の章(18ページ)からはNord Sound Managerアプリケーションのご紹介をします。

キーボード・タッチ・セッティング

Nord Pianoには異なる3種類のキーボード・タッチ・セッティングがあります。

Nord Pianoの音色としてサンプリングされたピアノ楽器の中にはダイナミック・レンジが非常に広いものもあり、そのレンジの広さを可能な限り忠実に再現しています。

しかしながら、ペロシティに対してより簡単にピアノ・サウンドが欲しい時もあります。そういう場合はこの機能が便利です。



LEDが点灯していない時は、デフォルトのセッティングの状態になっています。最大ペロシティを軽めのタッチでも出したい場合には、(KBD TOUCH)ボタンを押します。すると「1」のLEDが点灯します。もっと軽いタッチで最大ペロシティを出したい場合は(KBD TOUCH)ボタンをもう一度押して「2」のLEDを点灯させます。さらにその上がお望みでしたらボタンをもう一度押して「1」と「2」の両方が点灯している状態にしてみましょう。非常に軽いタッチでも最大ペロシティに達したサウンドで演奏できます。

6 Nord Pianoリファレンス

マスター・レベル

マスター・レベルでNord PianoのL/R アウトとヘッドフォン・アウトの音量を調節します。

- ① マスター・レベルの設定は、プログラムに保存されません。

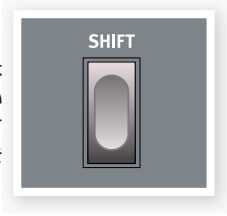


MIDIインジケーター

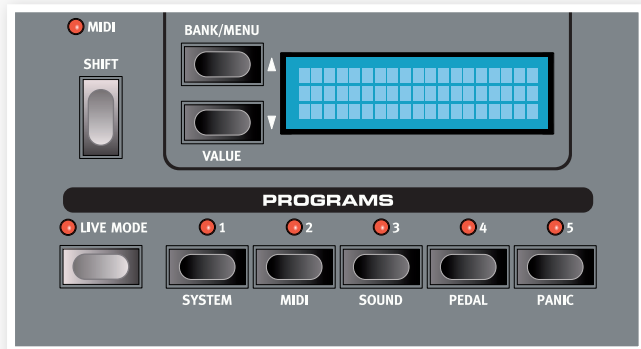
マスター・レベルの下にあるLEDはMIDIインジケーターで、MIDIデータが入力された時に点滅します。短い点滅はNord Pianoに入力されたすべてのMIDIデータで、長い点滅はすべてのMIDIデータからNord Pianoが実際に受信(Nord PianoのMIDIチャンネルと一致した等)し、動作につながったMIDIデータです。

シフト・ボタン

フロント・パネル上にあるボタンのうち、いくつかは本来の機能とは異なる別の機能が割り当てられています。その別の機能はボタンの下にプリントされています。この機能を使用する時は(SHIFT)ボタンを押しながら目的のボタンを押します。



プログラム・バンク・セクション



このセクションではバンクやプログラムを選択したり、プログラムの保存操作を行います。また、システムやMIDI、サウンドやペダルといった各メニューの設定もこのセクションで行います。

UP/DOWNボタン

ディスプレイの左側にあるのが(UP/DOWN)ボタンで、いくつかの異なる役割があります。通常は繰り返し押すことで24個あるバンクを1つずつ切り替えます。この時、ディスプレイにはバンクとプログラム・ナンバー、プログラム名が表示されます。

システム、MIDI、サウンド、ペダルの各メニューに入っている場合は、各メニュー内の機能を選択する時にも、この(UP/DOWN)ボタンを使用し、(SHIFT)ボタンを押しながら(UP/DOWN)ボタンを使用することで各機能の設定を変更できます。詳しくは16ページをご参照下さい。

ディスプレイ

ディスプレイには現在選択しているプログラムのナンバーと名前、そのプログラムで使用しているピアノ・モデルの名称が表示されます。プログラムをエディットすると、プログラム・ナンバーのとなり(ディスプレイの左上部)にアスタリスク(*)印が表示されます。

システムやMIDIなどのメニューに入っている時は、そのメニューの機能名がディスプレイに表示されます。

フロント・パネルのノブなどを操作すると、音色が変化するとともにそのパラメーターの値がディスプレイに表示されます。また、(SHIFT)ボタンを押しながらノブを回すと音色を変化させることなく、パラメーターの設定値を確認することができます。

ストア・ボタン

赤い(STORE)ボタンはプログラムを保存する時に使用します。

- ① (STORE)ボタンを一回押すとLEDが点滅を始めます。

この時、ディスプレイはプログラムの保存先を確認する画面になります。最初は元のプログラムと同じロケーションが表示されます。



- ② (UP/DOWN)ボタンとプログラム1~5のボタンを使って新しいプログラムの保存先を指定します。保存先を指定せずに元のプログラムに上書き保存をすることも可能です。

💡 保存先を指定すると、そのプログラム名がディスプレイに表示され、Nord Pianoの鍵盤でその音を確認することができます。これは上書きしたくないプログラムを誤って消去してしまうことを防ぐためです。

- ③ (STORE)ボタンをもう一回押して保存作業は完了します。

(STORE)ボタンをもう一回押す前に保存を中止したい場合は、(UP/DOWN)ボタン、プログラム・ボタン以外のフロント・パネルにあるボタン(どれでも構いません)を押すと保存動作を中止します。

別名で保存(STORE AS)

エディットした新しいプログラムを別名で保存することも可能です。

- ① (SHIFT)ボタンを押しながら(STORE)ボタンを押します。この時、ディスプレイには「Set Name」と表示され、現在のプログラム名がその下の行に表示されます。

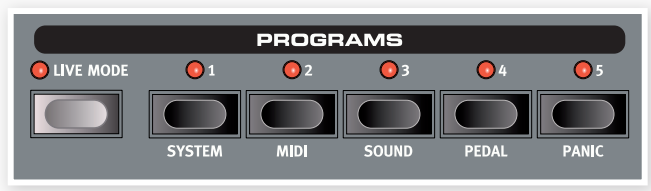
- ② (UP/DOWN)ボタンを使って文字を入れたいポジションにカーソルを動かし、(SHIFT)ボタンを押しながら(UP/DOWN)ボタンを押して文字を選択します。ディスプレイには11文字まで表示されます。

- ③ (STORE)ボタンをもう一回押して保存を完了させます。

この操作を中止したい場合は(SHIFT)ボタンを押します。

- ① 保存操作を行う前に、必ずメモリー・プロテクトがオフになっていることをご確認ください。確認方法や設定などの詳細は16ページをご覧ください。

ライブ・モード



〔LIVE MODE〕ボタンを押すと、パネル・セッティングで行ったエディットは、すべてその場で継続的に「ライブ・プログラム」に保存されます。電源を切っても、別のプログラムに切り替えても、ライブ・メモリーの内容はキープされますので、次に電源を入れた時や、ライブ・メモリーに戻った時には電源を切った時やライブ・メモリーから離れた時点の状態を保っています。ライブ・モードには5つのライブ・プログラムをストックすることが可能で、プログラム・ボタンで選択できます。

🔍 **ライブ・メモリー**を選択している状態で、ライブ・プログラムを通常のプログラムとして保存したい場合は、通常の保存操作で行えます。また逆に、通常のプログラムをライブ・プログラムとして保存することも可能ですが、その際には保存先となるライブ・メモリーを上書き保存します。

プログラム1～5ボタン

1バンク内のプログラムまたはライブ・モードのライブ・プログラムは、プログラム・ボタン(1～5)で選択できます。

〔SHIFT〕ボタンを押しながらプログラム・ボタンの1～4を押すと、各メニューに入ります。詳しくは16ページをご参照下さい。

パニック・ボタン

MIDIを使って演奏している時やライブの時にNord Pianoの音が止まらなくなってしまう、逆に音が出なくなってしまう場合には、〔SHIFT〕ボタンを押しながらプログラム・ボタンの5を押します。これには、止まらなくなってしまった音を強制的に止めたり、すべてのパフォーマンス・コントローラーをリセットする機能があります。

ピアノ・セクション



Nord Pianoのピアノ・セクションは6つのタイプで構成され、各タイプにはそれぞれいくつかのインストゥルメント・モデルが用意されています。また、Nord Sound Managerアプリケーションを使ってコンピュータからUSB経由で新しいピアノ・サウンドを追加することもできます(詳しくは18ページの「Nord Sound Manager」をご参照下さい)。

6種類のタイプには、私たちが膨大な時間を掛けて制作しましたアコースティック・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコードの素晴らしいコレクションが入っています。サウンドがリアルなことはもとより各楽器のレスポンスもそのままに、微妙なニュアンスも逃すことなく表現できるよう、ペロシティ別にサウンドをきめ細かく収録しました。それがNord Pianoのサウンドがリアルであるだけでなく、弾き心地も優れていると言える理由でしょう。

ピアノ・タイプ

〔PIANO TYPE〕セレクトター・ボタンを使って、ピアノ・タイプを選択します。各タイプにはいくつかのピアノ・モデルが入っています。〔PIANO TYPE〕セレクトター・ボタンを繰り返し押しすとピアノ・タイプが巡回して切り替わります。

タイプ	内容
GRAND	アコースティック・グランド・ピアノ
UPRIGHT	アップライト・ピアノ
E PIANO	エレクトリック・ピアノ(Tine & Reed)
E GRAND	エレクトリック・グランド・ピアノ
CLAVINET	クラビネット
HARPSI	ハーブシコード

❶ **ピアノ・タイプの変更**(タイプがGRANDに設定されているピアノをUPRIGHTに変更する等)はできません。

ピアノ・モデル

各ピアノ・タイプにはNord Pianoのメモリー使用状況に応じていくつかのピアノ・モデルが入っています。

❶ 〔MODEL〕ボタンを繰り返し押ししてモデルを選択します。ボタンの上にあるLEDに選択したモデルの番号が表示され、ディスプレイの2行目にはそのモデル名が表示されます。

❷ 〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔MODEL〕ボタンを押すと、現在選択しているピアノ・モデルの名前とバージョン・ナンバーがディスプレイに表示されます。

❸ **ピアノ・タイプとピアノ・モデルのLEDが点滅している時は、現在選択しているプログラムに必要なピアノ・サウンドのデータがNord Pianoのフラッシュ・メモリーに入っていない状態です。この場合、別のプログラムを選択するか、欠けているピアノ・サウンドをNord Pianoに追加します。**

⚠ **ピアノ・サウンドのデータが何らかの理由で破損している場合、Nord Pianoの電源を入れた時にその旨のメッセージがディスプレイに表示され、その破損したデータを使用しているプログラムを選択した時にピアノ・タイプとピアノ・モデルのLEDが点滅します。この場合、Nord PianoとNord Sound Managerを接続して破損しているデータを取り除き、改めてピアノ・サウンドのデータを入れ直して下さい。**

クラビネット

オリジナルのクラビネットD6では、ピックアップの組み合わせを選択できましたが、Nord Pianoでもピアノ・タイプでクラビネットを選択し、〔MODEL〕ボタンを押すことで同様に行えます。

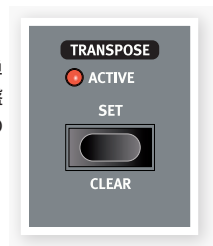
ピックアップ・タイプ

CLAV MODEL A	「ネック」側のピックアップのみを使用した、ウォームで丸みのあるサウンドです。
CLAV MODEL B	「ブリッジ」側のピックアップのみを使用した、ブライトなサウンドです。
CLAV MODEL C	両方のピックアップを同位相で使用したパワフルなサウンドです。
CLAV MODEL D	両方のピックアップを逆相で使用したサウンドです。基音成分のほとんどが打ち消し合われた、繊細なサウンドです。

トランスポーズ・セット

トランスポーズ機能はNord Pianoのピッチを半音単位でシフト(移調)できるものです。実際に弾いた鍵盤とは異なる音を出したい場合に非常に便利です。この設定はプログラムごとにもメモリーできます。

❶ 〔TRANPOSE SET〕ボタンを長押しします。



② トランスポーズしたいシフト量を (UP/DOWN) ボタンで指定します。

③ トランスポーズのシフト量はディスプレイに表示されます。

トランスポーズが設定されている時は、(ACTIVE)LEDが点灯します。

- ❶ トランスポーズの設定はNord PianoのMIDI出力にも反映されます。
- ❶ システム・メニュー内にグローバル・トランスポーズを設定できるページがあります。これを使用するとすべてのプログラムがその設定に従いますが、MIDI出力にはこれは反映されません。詳しくは16ページをご参照下さい。
- ⚠ ピアノ・サウンドには発音域の限界があります。そのため、トランスポーズやグローバル・トランスポーズの設定によってはNord Pianoの鍵盤の最高音部で無音になることがありますのでご注意ください。

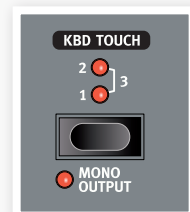
トランスポーズ・クリア

① トランスポーズの設定を解除するには、(SHIFT) ボタンを押しながら (TRANPOSE) ボタンを押します。

キーボード・タッチ

キーボード・タッチ機能を使用することにより、通常とは異なるベロシティ・レスポンス・カーブを使用できます。このことで、弱いタッチでも強いベロシティのサウンドを演奏することができます。

(KBD TOUCH)のLEDがすべて消えている時はデフォルトのレスポンス・カーブが使われている時です。1が点灯している時はデフォルトよりもやや弱いタッチでも最高ベロシティに到達できます。以降、2、3の順でより弱いタッチでも最高ベロシティに達しやすいレスポンス・カーブになります。



モノ・アウトプット

(SHIFT) ボタンを押しながら (MONO) ボタンを押すと、ステレオのサウンドをモノラルで使用できます。

- ❶ この機能はグローバル設定です。すべてのプログラムに適用されます。また、この機能はNord Pianoの電源を切るとリセットされます。

アコースティックス

アコースティックス機能を使って、サウンドにストリング・レゾナンスとペダル・ノイズをプラスできます。

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスはピアノの弦が他の鍵盤(弦)の音に反応してその基音または倍音が共鳴する音響的な現象のことです。

この機能がオンの時は、演奏中のすべての音が互いに反応して共鳴し合い、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの中で実際に起きている現象を再現することができます。

また、サスティン・ペダルを踏んだまま何音が演奏すると、すべての弦の共鳴が聴き取れます。

① (STRING RESONANCE) ボタンを押してストリング・レゾナンス機能をオンにします。オンになるとLEDが点灯します。オフにしたい時はもう一度このボタンを押します。

- ❶ ストリング・レゾナンス機能に対応していないピアノ(スモール・サイズのグランド、アップライト・ピアノなど)を選択した場合、この機能は無効となります。

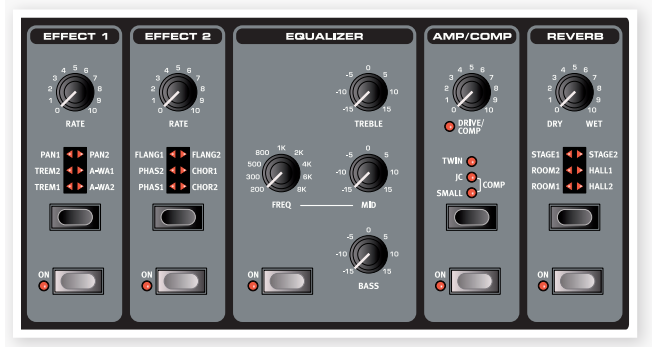
ペダル・ノイズ

アコースティックスのもうひとつの機能はペダル・ノイズです。この機能をしてペダルを踏むと、アコースティック・ピアノのペダル機構が発するノイズを再現します。Nord Piano Pedalはダイナミック式のペダルですので、ノイズ・レベルをペダルを踏む力の入れ具合でコントロールすることができます。

① (SHIFT) ボタンを押しながら (STRING RESONANCE) ボタンを押すことで、この機能のオン/オフ切替ができます。

- ❶ ペダル・ノイズ機能に対応していないピアノを選択した場合は、この機能は無効となります。

エフェクト



エフェクト・セクションを使ってNord Pianoのサウンドをさまざまに加工することが可能です。エフェクト・セクションの設定はプログラムごとに保存できます。

エフェクト1&2

エフェクト1と2には様々なモジュレーション・エフェクトとワウ・エフェクトが入っています。

① 各エフェクトにある(ON)ボタンを押してエフェクトのオン/オフを行います。エフェクトがオンの時はLEDが点灯します。

② (EFFECT SELECTOR) ボタンを繰り返し押すとエフェクト・タイプやエフェクトの深さが巡回して切り替わります。

💡 (SHIFT) ボタンを押しながら (EFFECT SELECTOR) ボタンを押すと、エフェクト・タイプなどの巡回する向きが通常の逆の反時計回りになります。

③ (RATE) ノブを回すとエフェクトのうねりの周期が変化します。ディスプレイでは周期が数値で表示されます。

💡 エフェクトがオフの時でも (EFFECT SELECTOR) ボタンでエフェクト・タイプなどを切り替えることができます。演奏中のサウンドを変化させることなくエフェクトを切り替えたい時に便利です。

エフェクト1

エフェクト1には次のエフェクトが入っています：

トレモロ、オート・パン、2種類のワウ

トレモロとオート・パンは3段階のデプス(深さ)切替があります。パン1が最も穏やかなタイプ、以降、パン2、パン3(PAN1とPAN2のLED点灯時)になるに従って劇的な変化になります。

[RATE]ノブでうねりの周期を調節できます。

[A-WA]はワウ・エフェクトで、信号の音量変化に応じてローパス・フィルターのカットオフ周波数が変化するものです。つまり、鍵盤を演奏するタッチでワウ効果をコントロールできるということです。[RATE]ノブでフィルターのカットオフ周波数のレンジを調節できます。

A-WA1はメロウなサウンドです。A-WA2はワウの動きがやや素早く、ブライトで明瞭なキャラクターです。

エフェクト2

Effect 2 offers three types of modulation effects:

エフェクト2には次の3種類のモジュレーション・エフェクトが入っています：

フェイザー、フランジャー、コーラス

各エフェクトともエフェクト1のトレモロやパンと同様、3段階のデプスがあります。[RATE]ノブでエフェクトのうねりの周期をコントロールできます。

イコライザー

トレブル(4kHz)、ベース(100Hz)、中心周波数可変式のミッド(200Hz~8kHz)の3バンド・イコライザーです。各バンドとも±15dBの範囲で調節できます。

アンプ/コンプレッサー

このセクションにはスピーカー/アンプ・エミュレーションとコンプレッサーが入っています。SMALL、JC、TWINの3種類のキャラクターが異なるアンプとスピーカー・キャビネットのエミュレーションです。[SPEAKER/COMP]ノブを回してドライブ(歪み具合)を調節できます。

コンプレッサーは、音量の小さい音を大きくし、音量の大きい音を抑え、ダイナミクスを均すエフェクトです。タイトでパンチのサウンドにすることができ、ライブ・ミックスなどのシチュエーションでコントロールしやすいサウンドになります。

コンプレッサーがオンの時、[DRIVE/COMP]ノブでコンプレッション量を調節できます。

リバーブ

リバーブ・セクションでは様々な音響的環境で発生する自然な残響音をシミュレートします。このセクションでは残響の長さや密度が異なる6種類のタイプから選択できます。

STAGE1はソフトなリバーブ、SUTAGE2はそのブライトなバージョン、等々です。

原音(ドライ)とリバーブ音(ウェット)とのバランスは[DRY/WET]ノブで調節できます。

7 メニュー

システム、MIDI、サウンド、ペダルの各メニューでの設定は、設定すると同時にプログラムに関係なくグローバルに反映され、その設定が変更されるまでその状態を記憶します。各メニューへは〔SHIFT〕ボタンを押しながらシステム、MIDI、サウンド、ペダルのいずれかのボタン（プログラム・ボタン1～4）を押して入ります。メニュー内の機能の選択は〔UP/DOWN〕で行い、設定の変更は〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔UP/DOWN〕を押します。また、メニューから抜けるにはプログラム・ボタンを押します。

❶ MIDIローカル・オン/オフの設定だけは例外的に電源を切る時点で自動保存をしません。Nord Pianoは電源投入時に必ずローカル・オンになります。

システム・メニュー

メモリー・プロテクト

工場出荷時にはオンの設定になっていますので、プログラムをエディットして保存したい場合にオフの設定に切り替えます。なお、システム、MIDI、サウンドの各メニューの設定やライブ・メモリーは、メモリー・プロテクトの設定に関わらず自動的に保存されます。

設定レンジ：オン（デフォルト（初期設定値））、オフ

ファイン・チューン

Nord Piano の調律（チューニング）を微調整します。

設定レンジ：±50セント（デフォルトは0）

グローバル・トランスポーズ

プログラムに関係なくNord Piano全体のトランスポーズを半音単位で行います。プログラムごとに設定できるトランスポーズを使用している場合、ここでの設定値にプラスされて動作します。

設定レンジ：±6半音（デフォルトは0）

MIDIメニュー

MIDIチャンネル

Nord Pianoの送受信MIDIチャンネルを設定します。USB端子を使ってMIDIメッセージの送受信を行う場合は、USB1～USB16を使用します。

設定レンジ：1～16、USB1～USB16、オフ（デフォルトは1）

ローカル・コントロール

Nord Pianoの鍵盤とフロント・パネルをNord Pianoの内部音源に使用するか、MIDIのコントロール・メッセージのみを送出するかをここで設定します。ローカル・オンは通常のモードです。ローカル・オフ・モードでは、鍵盤とフロント・パネルはMIDIメッセージのみを送出することになり、Nord Pianoの内部音源をコントロールしません。

設定レンジ：オン（デフォルト）、オフ

❶ 電源投入時には必ずオンになります。

コントロール・チェンジ・モード

ここではフロント・パネルのノブやボタンからMIDIコントロール・メッセージを送信するかどうか、または受信するかどうかを設定します。送受信する、受信のみ、送信のみ、送受信しない、から選択できます。

設定レンジ：Send/Recv（デフォルト）、Receive、Send、Off

プログラム・チェンジ・モード

プログラム・チェンジ・メッセージの送受信に関する設定をここでを行います。

設定レンジ：Send/Recv（デフォルト）、Receive、Send、Off

センド・コントロール

現在選択しているプログラムのパラメーター・データのすべてをMIDIコントロール・チェンジ・メッセージとしてダンブ送信する時に使用します。〔STORE〕ボタンを押すとダンブ送信が始まります。

ダンブ・ワン

現在選択しているプログラムのMIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンブを行う際に使用する機能です。〔STORE〕ボタンを押すと送信が開始されます。

ダンブ・オール

Nord PianoにメモリーされているすべてのプログラムのMIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンブを行う機能です。〔STORE〕ボタンを押すと送信が始まります。

システム・エクスクルーシブ・ダンブの受信手順につきましては、26ページをご覧ください。

サウンド・メニュー

ペダル・ノイズ・レベル

ペダル・ノイズ機能が使用できるピアノでのペダル・ノイズの音量を設定します。

設定レンジ: $\pm 6\text{dB}$ (デフォルトは 0dB)

ストリング・レゾナンス・レベル

ストリング・レゾナンス機能を使用できるピアノでのストリング・レゾナンスの音量を設定します。

設定レンジ: $\pm 6\text{dB}$ (デフォルトは 0dB)

ペダル・メニュー

ピアノ・ペダル

Nord Pianoに付属のサステイン・ペダルの動作環境を設定します。付属の Nord Piano Pedalをご使用になれない場合、そのすべての機能とまでは行きませんが別のペダルで代用できます。

他社ブランドのスイッチ・ペダル・タイプのペダルをお使いの場合、ペダルの極性に合わせる設定をここで行います。

設定レンジ: Nord Piano (デフォルト)、Sw.Open、Sw.Close

8 Nord Sound Manager

Nord Sound Manager(Nordサウンド・マネージャー)はNord Pianoのメモリー・エリアやパーティションの管理を行うアプリケーション・ソフトウェアです。ピアノ・サウンドやプログラム(ここでは「サウンド」と呼びます)をコンピュータからNord Pianoへ転送(ダウンロード)したり、逆にNord Pianoからコンピュータへ転送(アップロード)をする時に使用します。また、Nord Sound ManagerにはサウンドをNord Pianoへダウンロードさせる様々な手法やNord Pianoのメモリー全体のバックアップを取ったり、逆にコンピュータからNord Pianoのメモリー全体を移し替える(レストア)作業も担います。

動作環境

Nord Sound ManagerはMac OSX 10.4以上、Windows XP、Windows 7、Windows Vista上で動作します。なお、Nord Sound ManagerをWindowsコンピュータ上でご使用になる場合は、Clavia USB Driverのバージョン3.0以上をインストールの上、ご使用下さい。

❶ Nord PianoのOSアップデート、USB Driverやインストール手順書は、付属DVDまたはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)から入手できます。

インストールする

USBドライバーのインストール

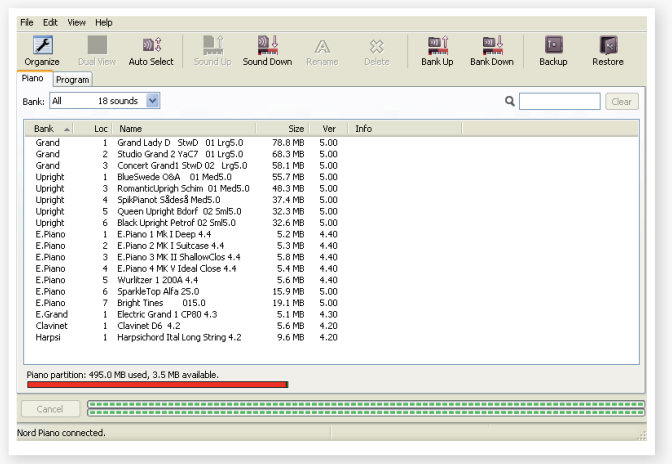
❶ Mac OSXをお使いの方はこのセクションの作業は不要です。

- ❶ Windowsコンピュータ(XP、Vista、7)をお使いの方は、付属DVDに収録されているClavia USB Driver v3.0 Setup.exeをダブルクリックします。
- ❷ 画面に表示される指示に従って作業をします。
- ❸ インストールが完了しますとUSBドライバーはいつでも使用できる状態になります。Nord PianoとコンピュータをUSBケーブルで接続します。
- ❹ Nord Pianoとコンピュータを接続すると、USBドライバーが自動的に起動し、Windowsのタスクバーに接続が完了したという意味のメッセージが表示されます。

Sound Managerのインストール

- ❶ **Windowsユーザーの方**: DVDのNord Sound Managerフォルダを開き、「Nord Sound Manager v5.x Setup.exe」を起動し、手順に従って作業を進めます。インストールが完了しますと、Nord Sound ManagerはWindowsのスタート・メニューから起動できます。
 - ❷ **Mac OSXユーザーの方**: DVDのNord Sound Managerフォルダを開き、「Nord Sound Manager 5.x.dmg」をダブルクリックし、表示されたNord Sound Managerアプリケーションをコンピュータのハードディスクのアプリケーション・フォルダにドラッグ&ドロップします。
- △ Clavia USB Driver、Nord Sound ManagerはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からも入手できます。他にも様々なアップデート情報など満載のNordウェブサイトにぜひお立ち寄り下さい。

オーバービュー



Nord Pianoのメモリー・エリアは「Piano」と「Program」という2つのパーティションで構成されています。画面上にあるタブでそれぞれに簡単にアクセスできます。

Nord Pianoがコンピュータに接続されていない場合は、ページやアイコン、メモリー・ロケーションなどが薄く表示されます。

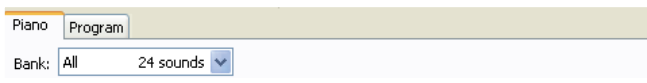
△ Nord Sound Manager上で行った作業は、そのままNord Pianoのメモリーに反映されます。Nord Sound Managerは常にNord Pianoと通信していますので、Manager上での変更は即座にNord Piano上で実行されます。例えば、Manager上にあるピアノ・サウンドやプログラムのリストから何かひとつを削除したとします。すると、それに対応するサウンドやプログラムがNord Pianoのフラッシュ・メモリーから消去されますので十分にご注意の上、Nord Sound Managerでの作業を行って下さい。

ツールバー




ツールバーはNord Sound Managerでよく使う機能にダイレクトにアクセスできるものです。アイコンをクリックしてそれらの機能へアクセスします。また、ダイアログが表示され、確認を行ったり、さらに細かい作業を行うことも可能です。

タブ



メモリー・エリアのパーティション切替をタブで行います。ピアノ・タブではピアノ・サウンドのパーティション管理を、プログラム・タブではプログラムの管理を行います。Nord Sound Managerや本マニュアルでは個々のピアノ・サウンドやプログラムのことを「サウンド」と呼びます。

 コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押しながらタブ・キーを押すとタブの切替ができます。

各タブ以下で表示されるリストはロケーション、名前、サイズ、バージョン、日付など順番で昇順または降順で並べ替えができます。並べ替えはリストのトップにある項目名をクリックするだけで簡単に行えます。

パーティション・メモリー・インジケータ

画面下部にあるメモリー・インジケータは、各パーティションでのメモリー消費量を表示します。インジケータ内の赤いエリアは既に使われているメモリー、緑色の表示は空きスペースで、新しいサウンドに使用できます。

右クリック

サウンドを右クリックすると、コンテキスト・メニューが表示され、次のようなオプションを使用できます：

Select in Instrument (セレクト・イン・インストゥルメント)

このオプションを選択すると、Nord Sound Managerのリスト上にあるサウンドをNord Pianoから選択できるようになります。

Upload (アップロード)

選択したサウンドをNord Pianoからコンピュータ上のフォルダに転送します。フォルダは任意に指定できます。

Download (ダウンロード)

コンピュータ上にあるサウンドをNord Pianoのメモリーに転送します。このオプションはNord Sound Managerのリスト上にサウンドが入っていない空きロケーションがある場合にのみ有効です。

Select In Instrument


Upload...

Download...

Delete

Rename (リネーム)

プログラムの名前を変更したり、カテゴリーの割り当てを変更する時にこのオプションを使います。使用できる文字はa~z、A~Z、0~9、そしてハイフン(-)で、最大文字数は16文字です。その他の文字はSound Managerのリストには表示されませんのでご注意ください。


 ピアノ・サウンドのリネームはできません。また、ピアノ・サウンドを右クリックしてもこのオプションは使用できません。

Delete (デリート)

選択したサウンドをNord Pianoのメモリーから消去します。

ファイル・フォーマット

Nord Sound Managerで作成したりNord Pianoで使用できるファイル・フォーマットには、次のようなものがあります：

- **.npno** : Nord Piano Library のピアノ・ファイルです。
 - **.nppg** : プログラム・ファイルです。
 - **.npb** : Nord Piano のバックアップ・ファイルです。
-  Nord Pianoはバージョン5以上のピアノ・ファイルに対応しています。

コンピュータ上の他のファイルと同じように、これらのファイルもリネームをしたり、メールに添付して送ったり、コピーをしたり、移動をしたり、削除をしたり、あるいはハードディスクのクラッシュに備えて別の安全なボリュームに移すことができます。

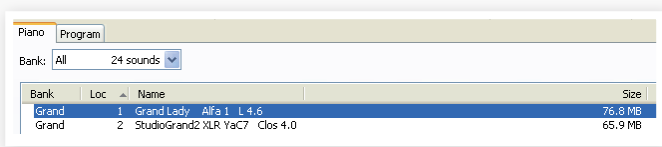
クイック・ツアー

では、Nord Sound Managerの様々な機能をご紹介します。

ピアノ・ファイルをNord Pianoに転送する

工場出荷時のNord Pianoは、ピアノ・パーティションがサウンドで埋め尽くされた状態になっています。そのため、新たなピアノ・サウンドを追加するには最初から入っていたピアノ・サウンドのうちのいくつかを消去しなければなりません。消去したピアノ・サウンドを再び使用したくなる場合もあることでしょう。その時には工場出荷時のすべてのピアノ・サウンドを収録した付属DVDをご利用下さい。また、それらのピアノ・サウンドはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)のライブラリー・エリアからも入手できます。

ピアノ・ファイルを消去する

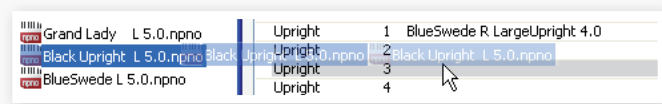


- 1 Nord Pianoとコンピュータを接続し、Nord Sound Managerを立ち上げます。
- 2 ピアノ・タブを開き、Nord Pianoのピアノ・パーティションの内容が表示します。
- 3 消去するピアノ・サウンドを選択し、ツールバーにあるデリート・アイコンをクリックします。

消去の操作は、サウンドを右クリックしてデリートのオプションを選択してもできますし、コンピュータのキーボードのバックスペースまたはデリート・キーで行うこともできます。

- 4 確認画面が表示され、確認をするとNord Pianoにメモリーされていたピアノ・サウンドが消去されます。

新しいサウンドをダウンロードする



- 1 ドラッグ&ドロップで行う場合：新しいサウンドが入っているフォルダを開きます。
- 2 新しいサウンドが入っているフォルダとSound Managerの画面が表示されていることを確認します。
- 3 新しいサウンドをSound Managerのリストの空きエリアにドラッグします。移動先のエリアがグレーに変化した時点でマウスのボタンを放してドロップします。
- 4 クリーン・テリテッド・スペース処理が自動的に始まり、メモリーの空きスペースを用意し、それが完了すると新しいピアノ・サウンドがNord Pianoへダウンロードされます。メモリーに十分な空きスペースがない場合、Sound Managerの画面下部にあるテキスト・エリアにメッセージが表示されます。

🔍 ビュー・メニューにあるオーガナイズ・オプション(Organize)がオンになっている場合は、バンク内の空きスペースならどこにでも新しいサウンドをドロップできます。このオプションがオフの場合、新しいサウンドはバンク内の空きスペースの最初のロケーションに自動的に入ります。ロケーションはNord Piano上の(MODEL)セレクター・ボタンで選択できます。

❗ ピアノ・サウンドにはあらかじめカテゴリーが設定されています。そのカテゴリーと一致したバンクにのみサウンドを追加することができます。エレクトリック・ピアノのピアノ・サウンドはグランド・バンクには入れられませんし、グランド・ピアノのサウンドはクラビネット・バンクには入りません。

- 1 ツールバーやメニュー・コマンドで行う場合：ツールバーにある[Sound Down]アイコンをクリックします。同じ操作はファイル・メニューにある「Sound Download(Ctrl-D)」でも行えます。

- 2 ファイル・ブラウザが開き、そこから必要なファイルを選び[Open]をクリックします。するとそのサウンドが該当するバンクに追加されます。

Nord Pianoからサウンドをアップロードする

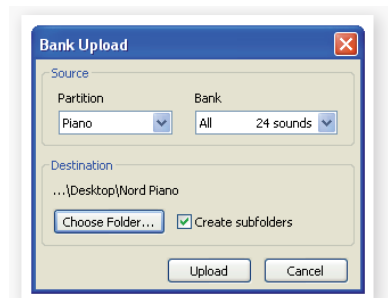
- 1 コンピュータに保存したいサウンドが入っているパーティションを選びます。
- 2 バンクとサウンドを選択します。コンピュータのキーボードのシフト・キーを押しながらクリックすると複数の連続したサウンドを選択でき、コントロール・キーを押しながらクリックすると複数の連続していないサウンドを選択できます。下図はサウンドを2つ選択した状態のもので。

Loc	Name	Categor
1	The Grand	Grand
2	Eltons Piano	Grand
3	ZawiTimes	EPiano
4	SparkleTop	EPiano
5	HardTimes	EPiano

- 3 ツールバーにある[Sound Up]アイコンをクリックするか、サウンドを右クリックして「Upload」を選択します。するとファイル・ブラウザが表示されますので保存したいフォルダを選択します。アップロードにかかる時間は、選択したサウンドの容量によって変化します(大きい容量のサウンドをアップロードすると時間が少々かかります)。

パーティション全体をアップロードする

- 1 Nord Sound Manager上でアップロードしたいパーティション(とバンク)が選択されていることを確認します。この後表示されるダイアログでバンクを変更するチャンスは残されています。
- 2 ツールバーの[Bank Up]アイコンをクリックするか、メニューから「File/Bank Upload(Ctrl-Shift-U)」を選択します。この時、アップロードするバンクの確認と、保存先のフォルダを選択する画面が表示されます。



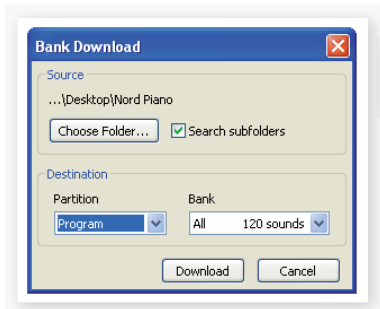
アップロードするバンクを選択するドロップダウン・リストのいちばん下に「All」がありますので、それを使うことも可能です。「All」を使えばパーティション全体の内容がコンピュータに転送されます。

「Create Subfolders」にチェックが入っている場合、保存先のフォルダ内にパーティション / バンク / サウンドという階層構造が自動的に作成されます。

サウンドをNord Pianoにダウンロードする

- 1 ツールバーの[Bank Down]アイコンをクリックするか、メニューから「File/Bank Download(Ctrl-Shift-D)」を選択します。
- 2 ダウンロード先のバンクが正しく選択されているかを確認し、ダウンロードしたいサウンドが入っているフォルダを選択します。

- ① 「Download」をクリックすると、Nord Pianoのダウンロード先のバンクのバンクがこれからダウンロードする内容に入れ替わりますという意味のダイアログが表示されます。



バンクのドロップダウンに「All」がありますので、パーティション内のすべてのサウンドを一気に入れ替えることも可能です。また、「Search Subfolders」にチェックが入っている場合、ダウンロードしたいサウンドが入っている階層のトップ・フォルダをブラウズできます。

プログラム・パーティションをオーガナイズする

ドラッグ&ドロップでプログラム・パーティション内にある120個のプログラムを自由に組み替えることができます。

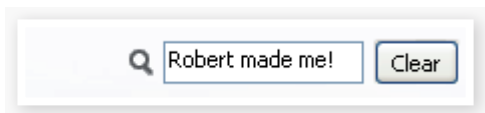
- ① ビュー・メニューのオーガナイズ (Organize) がオンになっていることを確認します。
- ② 移動させたいプログラムを選び、移動させたいロケーションにドラッグします。

サウンド(プログラム)を空きロケーション(位置)でドロップすると、そのサウンドが元のロケーションから移動します。すでにサウンドがあるロケーションにドロップすると、元のサウンドとそのサウンドのロケーションが入れ替わります。

- ③ プログラムを選択し、コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押しながらドラッグすると、プログラムがコピーされます。

サーチ・ボックスで検索する

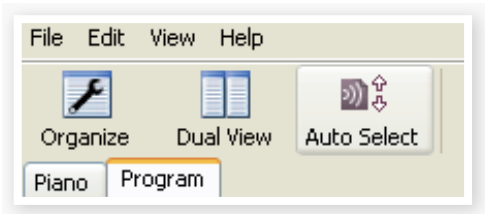
- ① サーチ・ボックスに文字を入力すると、検索ワードに該当したサウンドのみがリストに表示されます。



名前が重複したプログラムを探し出す場合などにサーチ・ボックスは便利です。

オート・セレクト

ツールバーの(Auto Select)アイコンをクリックすることで、オート・セレクト機能のオン/オフを行えます。



オート・セレクト機能がオンの場合、サウンドをコンピュータのキーボードの矢印キーで選択でき、選択したサウンドが自動的にNord Piano上でも選択されます。

- 🔍 サウンド(ピアノ・サウンドまたはプログラム)をダブルクリックすることでNord Piano上でそのサウンドを選択させることができます。

Sound Managerリファレンス

ツールバー



Organize (オーガナイズ)

このオプションがオンになっている場合、リストにはすでにサウンドが入っているロケーション以外にも空きロケーションが表示されます。ドラッグ&ドロップでリストの途中でサウンドを入れたい時などに便利です。このオプションがオフの場合は、リスト表示はサウンドが入っているロケーションのみとなり、リスト内の順番入れ替えなどはできません。

Dual View (デュアル・ビュー)

このオプションがオンでプログラム・パーティションが表示されている場合、リストが2つに分割されて表示されます。異なるバンクのリストを表示させてドラッグ&ドロップでプログラムを入れ替えるといったことも可能です。

Auto Select (オート・セレクト)

この機能がオンの時は、コンピュータのキーボードの矢印キーでリストをスクロールするとNord Piano上も同期してそのサウンドを自動的に選択します。

Sound Up (サウンド・アップ)

この機能を使ってサウンドをNord Pianoからコンピュータへ転送します。

Sound Down (サウンド・ダウン)

コンピュータからNord Pianoにサウンドを転送する時にこの機能を使います。

Rename (リネーム)

プログラムの名前を変更する時にこの機能を使用します。最長16文字、使用できる文字はa~z、A~Z、0~9、そしてハイフン(-)です。その他の文字はリスト画面に表示されませんのでご注意ください。

- ① ピアノ・サウンドはリネームできません。ピアノ・サウンドを選択した時はこの機能は使用できません。

Delete (デリート)

選択したサウンドを消去します。消去する時に確認画面が表示されます。商況の操作はコンピュータのキーボードのデリートまたはバックスペース・キーでも行えます。

- ① 消去したピアノ・サウンドを使用していたプログラムがある場合、そのプログラムを選択しても音がまったく出なくなります。これはそのプログラムに必要なサウンドを消去してしまったからです。

消去したピアノ・サウンドのロケーションは、リスト上でフリーと表示されていてもすぐには他のピアノ・サウンドに使用することはできません。これはフラッシュ・メモリーの特性上、データを消去したエリアに新たなデータを入れる際に、そのエリアを完全にクリーンな状態にする必要があります。Nord Sound Managerではピアノ・サウンドを新たに追加する時点でこの処理を自動的に行いますが、必要に応じてこの処理を手動で行うことも可能です。この処理はファイル・メニューにある「Clean Deleted Space」で行います。

- ① Nord Pianoの(PIANO TYPE)と(MODEL)のLEDが点滅している場合、そのプログラムで使用するはずだったピアノ・サウンドがフラッシュ・メモリー上にないことを意味しています。この場合、別のプログラムを選択するか、そのプログラムに必要なピアノ・サウンドをダウンロードして下さい。

Bank Up (バンク・アップ)

この機能はNord Pianoに入っているピアノ・サウンドやプログラムをバンクごとコンピュータにアップロードする機能です。アップロード元はデフォルトでは現在選択しているバンクになっていますが、別のバンクに選び直すことができます。「Choose Folder」をクリックするとコンピュータ上のアップロード先のフォルダを指定できます。

「Create Subfolders」のオプションにチェックが入っている場合、アップロード先のフォルダ内にNord Pianoと同様の階層構造が自動的に作成されます。

- ① アップロード元と同じ名前のフォルダがコンピュータ上にある場合、そのフォルダの全内容がNord Pianoからアップロードされるデータに置き換わります。

Bank Down (バンク・ダウン)

この機能はコンピュータ上にあるバンク全体の内容をNord Pianoにダウンロードする時に使用します。ダウンロード先のバンクはデフォルトでは現在選択されているバンクですが、別のバンクに選び直すことができます。「Choose Folder」をクリックしてダウンロード元のフォルダを選択します。

- △ この機能を使用すると、ダウンロード先のバンクの全内容がダウンロード元のフォルダの全内容に置き換わりますので作業をされる際にはご注意ください。

Backup (バックアップ)

この機能はNord Pianoに入っている全データ(ピアノ・サウンド、プログラム、ライブ・プログラム、各メニューの設定)のバックアップをコンピュータに取る時に使います。この機能を使って作成されるファイル(バックアップ・ファイル)の拡張子は「.npb」です。バックアップ・ファイルの作成にかかる時間は使用しているピアノ・サウンドのファイル容量によって前後します。

- ☼ Nord Sound Managerのバックアップ処理は、いわゆる増分バックアップを採用しています。バックアップ・ファイルのファイル名に変更がない限り、前回のバックアップから変更された分だけを前回のファイルに追加します。

最初にバックアップ処理を行う時に、Nord Sound Managerはバックアップ・ファイルの保存先を「マイドキュメント /Nord Sound Manager files/」に勤めますが、ファイル・ブラウザ画面で他の場所を選び直すことができます。

Restore (レストア)

この機能は以前に作成しコンピュータ上に保存したバックアップ・ファイルをNord Pianoに戻す時に使用します。具体的にはバックアップ・ファイル(拡張子「.npb」)を選択して「Open」をクリックします。

- △ レストア機能は「Open」をクリックしてから最終確認が行えるダイアログが表示されます。そこで確認をするとNord Pianoに入っていた全データがバックアップ・ファイルの内容に置き換わりますので、この作業をされる際には十分にご注意下さい。

メニュー

Nord Sound Managerでは、WindowsやMacで一般的に使用されているキーボード・ショートカットが使えます。各メニューへはAltキーを押してからメニュー・バーの下線がある文字をタイプすることでアクセスできます。また、多くのコマンドではコントロール・キー(Macの場合はコマンド・キー)を押しながらメニューを開いた時に表示される各コマンドの文字をタイプしてアクセスできます。

File	Edit	View	Help
Sound Upload...			Ctrl+U
Sound Download...			Ctrl+D
Bank Upload..			Ctrl+Shift+U
Bank Download...			Ctrl+Shift+D
Backup...			Ctrl+B
Restore...			Ctrl+R
Clean Deleted Space Format			
Exit			Ctrl+Q

ファイル・メニュー

Sound Upload (Ctrl+U) (サウンド・アップロード)

Nord Pianoに入っているサウンドを、コンピュータにアップロードする時にこの機能を使用します。

Sound Download (Ctrl+D) (サウンド・ダウンロード)

コンピュータにあるサウンドをNord Pianoのメモリー上で使用できるロケーションにダウンロードさせる機能です。

Bank Upload (Ctrl+Shift+U) (バンク・アップロード)

Nord Pianoに入っているサウンドをバンクまたはパーティションごとコンピュータにアップロードする機能です。バンク、パーティションを選択し、保存先のフォルダを指定します。

「All」を選択すると、パーティション内のすべてのバンクの内容がアップロードされます。また、アップロード先のフォルダ内の階層構造(パーティション/バンク/サウンド)も自動的に作成されます。

Bank Download (Ctrl+Shift+D) (バンク・ダウンロード)

バンク全体の内容(またはすべてのバンク)をコンピュータからNord Pianoにダウンロードする時にこの機能を使用します。

この機能を使用する時は、ダウンロード元とダウンロード先の属性が合っているかをご確認下さい。プログラムのデータをピアノ・サウンドのバンクには転送できません。

- ① この機能を使用するとダウンロード元(コンピュータ)のデータがすべてダウンロード先(Nord Piano)に転送されます。

Backup (Ctrl+B) (バックアップ)

この機能を使用してNord Piano内のすべてのデータ(ピアノ・サウンド、プログラム、ライブ・プログラム、各メニューの設定)からバックアップ・ファイルを作成してコンピュータに保存します。

この処理で作成されるバックアップ・ファイルの拡張子は「.npb」です。

バックアップ・ファイルの作成にかかる時間は、その時Nord Pianoに入っているピアノ・サウンドのメモリー容量によって前後します。

- ☼ Nord Sound Managerのバックアップ処理は、いわゆる増分バックアップを採用しています。バックアップ・ファイルのファイル名に変更がない限り、前回のバックアップから変更された分だけを前回のファイルに追加します。

Restore (Ctrl+R) (レストア)

以前に保存したバックアップ・ファイルをNord Pianoに転送する時にこの機能を使用します。転送したいバックアップ・ファイル(.npbファイル)を選択し、「Open」をクリックします。

- △ レストア機能は「Open」をクリックしてから最終確認が行えるダイアログが表示されます。そこで確認をするとNord Pianoに入っていた全データがバックアップ・ファイルの内容に置き換わりますので、この作業をされる際には十分にご注意下さい。

Clean Deleted Space (クリーン・デリートド・スペース)

この機能はピアノ・サウンドやプログラムを消去した後、そのメモリー・エリアをクリーンな状態にし、新たなサウンドを追加できるようにする機能です。

- この処理は新たなピアノ・サウンドやプログラムをNord Pianoにダウンロードする時に自動的に行われますが、必要に応じて手動でも行えます。

Format (フォーマット)

この機能は、現在選択しているパーティション全体をフォーマットして、一気にすべてのサウンドを消去してしまう、大変危険な機能です。実行時には最終確認を行えますが、十分ご注意ください。

Exit (Ctrl+Q) (イグジット)

Nord Sound Manager を終了させる時に使用します。

エディット・メニュー

Rename (Ctrl+N) (リネーム)

プログラムの名前を変更する時に使用します。最長16文字まで入力でき、使用できる文字はa~z、A~Z、0~9、そしてハイフン(-)です。その他の文字はNord Sound Managerでは表示しませんのでご注意ください。

- ピアノ・サウンドはリネームできません。

Delete (デリート)

選択したサウンドをNord Pianoのメモリーから消去します。実行時に最終確認を行えます。

Select All (Ctrl+A) (セレクト・オール)

バンクまたはパーティション内のすべてのサウンドを選択します。

Invert Selection (インバート・セクション)

元々選択したサウンドを選択から外し、それ以外の選択していなかったサウンドをすべて選択する時に使用します。

ビュー・メニュー

Organize (Ctrl+O) (オーガナイズ)

このオプションにチェックが入っていると、選択しているバンクまたはパーティション内の、空きエリアも含めたすべてのメモリー・ロケーションがリストに表示されます。このオプションにより、ドラッグ&ドロップを使ってリストの中間部にサウンドを移動させたりすることが容易になります。また、このオプションにチェックが入っていない場合は、使用中のロケーションのみがリストに表示されます。

Dual View (Ctrl+L) (デュアル・ビュー)

このオプションにチェックが入っていると、リストが2つに分割して表示されます。ドラッグ&ドロップでプログラムを並び替えたい時に便利です。また、ドロップダウン・メニューで異なるバンクをそれぞれ表示させることも可能です。

- ドラッグ&ドロップでサウンドを移動させている間に、コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押すとコピーになります。

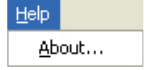
Auto Select (Ctrl+K) (オート・セレクト)

この機能がオンの時、リスト表示されているサウンドをコンピュータの矢印キーでスクロールするとNord Piano側でもそれに同期して自動的にそのサウンドを選択します。

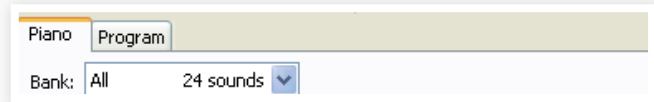
ヘルプ・メニュー

About (アバウト)

Nord Sound Managerのバージョン・ナンバーを表示します。また、そのNord Sound Managerに対応したNord製品とそのOSバージョンもリスト表示します。



タブ



ピアノ・プログラム

パーティションの切替はタブで行います。画面のタブをクリックする以外にコンピュータのキーボードのコントロール・キーを押しながらタブ・キーを押すことでも切り替えられます。ドロップダウン・メニューは、ピアノまたはプログラム・パーティション内のバンクを選択する時に使用し、選択されたバンクがその下のリストに表示されます。

サーチ・ボックス

検索ワードを入力して、該当するピアノ・サウンドやプログラムを表示します。「Clear」をクリックすると検索が解除され、表示が元に戻ります。

ロケーション(Loc)

各バンクはロケーションで構成されています。ロケーション数はバンクのタイプによって異なります。

ネーム

サウンド(ピアノ・サウンド、プログラム)の名前です。

カテゴリー

各プログラムに割り当てられたカテゴリーです。ピアノ・タイプと対応していません。

サイズ

ピアノ・サウンドのメモリー容量を表示します。ピアノ・サウンドの入れ替え時やメモリー容量を調べたい時に便利です。なお、プログラム・リストではサイズは表示されません。

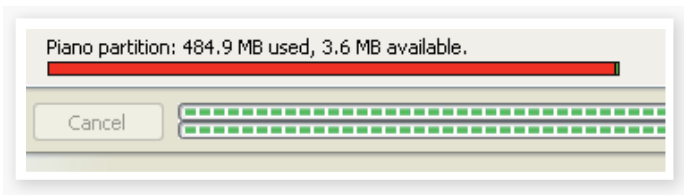
バージョン・ナンバー(Ver)

ピアノ・サウンドやプログラムのバージョン・ナンバーを表示します。楽器側のOSバージョンが古いと、新しいバージョンのサウンドが使用できないこともあります。

インフォ

ファイルに破損や不具合などがある場合やNord Sound Managerが正しく認識できないファイルを発見した時(Nord Piano内のピアノ・サウンドに何らかの異常がある場合)に、インフォ・エリアにメッセージが表示されます。

フッタ・エリア



フッタ・エリアはNord Sound Managerの画面の最下部にあります。

パーティション・メモリー・インジケーター

選択したパーティションのメモリー使用状況を表示します。赤いエリアは使用済みエリア、グリーンが表示は空きエリアです。

ピアノ・パーティションの最大容量は約500MBです。

キャンセル・ボタン

実行中の処理を中止したい時にこのボタンをクリックします。レストア機能などの最終確認を行う処理には使用できませんのでご注意ください。

プログレス・バー

処理の実行状況を表示するバーが2本あります。上のバーは個々の処理の経過を、下のバーは処理全体の実行状況をそれぞれ表示します。

メッセージ/テキスト・エリア

テキスト・エリアの左側ではNord Sound Managerの現在状況やエラー・メッセージを表示します。

右側のエリアではNord Pianoとの接続状況やNord PianoのOSバージョン・ナンバーを表示します。

新しいツール、新しいサウンド

Nord Sound Manager最新版やNord Pianoで使用できる新しいサウンドなどが無料でダウンロードできるNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)へぜひお立ち寄り下さい。

9 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて

Nord Piano は次のMIDIメッセージの送受信が行えます：

ノート・オン/オフ

- ・ ノート・オン/オフ・メッセージの送受信

コントローラー

コントロール・チェンジ・メッセージの送受信の設定は、MIDIメニューで行えます。詳しくは16ページをご参照下さい。

- ・ Nord Piano PedalをNord Pianoのペダル・インプットに接続した場合、サスティン・ペダルのメッセージをコントローラー64で送信します。
- ・ Nord Piano PedalをNord Pianoのペダル・インプットに接続した場合、ソステヌートのメッセージをコントローラー66で送信します。
- ・ Nord Piano PedalをNord Pianoのペダル・インプットに接続した場合、ソフト・ペダルのメッセージをコントローラー67で送信します。
- ・ フロント・パネルのほとんどのノブやボタンもコントロール・チェンジ・メッセージの送受信が行えます。ノブの動きやボタン操作をMIDIシーケンサーに記録させることも可能です。Nord Pianoの各パラメーターとコントロール・ナンバーとの対応につきましては、本章のMIDIコントローラー・リストをご覧ください。

🔦 Nord PianoはMIDIメッセージをUSB端子からも送信できます。MIDIメニューでMIDIチャンネルを「USB」で始まるチャンネルに設定します。詳しくは16ページの「MIDIメニュー」をお読み下さい。

キーボード・ベロシティ

Nord Pianoはキーボード・ベロシティ・メッセージの送受信が可能です。リリース・ベロシティの送信も行えます。

プログラム・チェンジ

MIDIメニュー（16ページをご参照下さい）でプログラム・チェンジ・メッセージの送受信設定を行います。

プログラムを選択すると、プログラム・チェンジ・メッセージが送信されます。Nord Pianoで設定したMIDIチャンネルのプログラム・チェンジ・メッセージを受信すると、それに応じてプログラムが切り替わります。

Nord Pianoの120個のプログラムはMIDIプログラム・チェンジの0～119に対応しています。

MIDIシステム・エクスクルーシブ

プログラムのデータをシステム・エクスクルーシブ・ダンブで送受信することができます。

Nord Pianoをシーケンサーで使用する

シーケンサーと接続する

- ① Nord PianoのMIDIアウトをシーケンサーのMIDIイン接続します。または、Nord Pianoとシーケンサー（コンピュータ）をUSBケーブルで接続します。
- ② シーケンサーのMIDIアウトをNord PianoのMIDIインに接続します。または、Nord Pianoとシーケンサー（コンピュータ）をUSBケーブルで接続します。

ローカル・オン/オフ

Nord Pianoとシーケンサーを併用する時はローカル・オフに設定するのが良いでしょう。シーケンサーに入力されたMIDIメッセージをそのままMIDIアウトへ出力する状態、つまりNord PianoからのMIDIメッセージがシーケンサーを経由して再びNord Pianoに入力されてしまうことを防ぐためです。ローカル・オン/オフの設定につきましては、16ページの「MIDIメニュー」をご参照下さい。

MIDIチャンネル

Nord Pianoで使用するMIDIチャンネルをMIDIメニューで設定します。詳しくは16ページをご参照下さい。

プログラム・チェンジ

プログラム・チェンジの情報は、シーケンサーのトラック設定に記録しておくのが一般的です。Nord Pianoの120個のプログラムはプログラム・チェンジの0～119に対応しています。

プログラム・チェンジ・メッセージをシーケンサーに記録する場合は、Nord Pianoでプログラムを切り替えればOKです。

コントローラー

ノブやボタンの操作をシーケンサーに記録する際には、シーケンサーのエコーバック設定で正しいMIDIチャンネルになっているかをご確認ください。MIDIがループ状態になってしまうと、思い通りの操作ができなくなる場合があります。

コントローラーの「チェイス」機能について

次のような状況を想像してみましょう。シーケンサーの曲の途中でリバーブのウェット / ドライ・ミックスの変化を記録したとします。記録を終え、曲の先頭から聴いてみたらリバーブのウェット / ドライ・バランスが変化後のままになっていました。本来なら変化する前の状態になっていて欲しいのですが…

この問題を解決するには、シーケンサーの曲の先頭にNord Pianoの各コントローラーの状態を記録させておくのが良いでしょう。詳しくは次のページの「MIDIコントローラー・ダンブを送信する」をご覧ください。

プログラムとコントローラーのダンプ

プログラムのシステム・エクスクルーシブ・ダンプやMIDIコントローラーのデータをもう1台のNord Pianoやシーケンサーに送信するのは、次の手順で行います：

プログラム・ダンプを送信する

- ① Nord PianoのMIDIアウトを、受信するMIDI機器のMIDIインに接続します。またはUSB接続をします。
 - ② 受信側の機器でMIDIシステム・エクスクルーシブとMIDIコントローラー・データを受信できる状態に設定します。
 - ③ Nord Pianoの〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔MIDI〕押してMIDIメニューに入り、〔UP/DOWN〕ボタンで「Dump One」または「Dump All」を選択します。
 - ④ 必要に応じて、受信側の機器をレコーディング・モードにセットします。
 - ⑤ 〔STORE〕ボタンを押すとNord Pianoからデータが送信されます。送信が完了するとディスプレイに送信が終わった旨のメッセージが表示されます。
- ❗ プログラムのすべてのパラメーター情報がプログラム・ダンプで送信されますが、ピアノ・サウンドは送信されません。

プログラム・ダンプをNord Pianoに受信させる場合、そのプログラムで使用しているピアノ・サウンドが受信側のNord Pianoに入っているかをご確認下さい。そうでないと別のピアノ・サウンドに適用されてしまう場合があります。

MIDIコントローラー・ダンプを送信する

- ① 「プログラム・ダンプを送信する」の手順①と②を行います。
- ② 〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔MIDI〕を押してMIDIメニューに入り、〔UP/DOWN〕ボタンで「Send CC」を選択します。
- ③ 〔STORE〕ボタンを押すとNord Pianoからデータが送信されます。送信が完了するとディスプレイに送信が終わった旨のメッセージが表示されます。

MIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンプを受信する

MIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンプの受信手順です：

- ① 送信側の機器のMIDIアウトをNord PianoのMIDIインに接続します。
- ② 送信側の機器で送信操作を行います。

受信するデータがすべてのプログラムの場合、Nord Pianoに入っているプログラムはすべて受信されるデータに置き換わります。受信するデータがプログラム1つ分の場合、そのデータは受信側のNord Pianoで選択していたプログラムに一時的に入ります。

ディスプレイの左上部分、プログラム・ナンバーのとなりにアスタリスク（※印）が表示されている場合、そのプログラムはまだ保存されていないプログラムです。そのプログラムを保存する場合は保存の操作を行います。詳しくは9ページの「プログラムを保存する」をご参照下さい。

MIDIコントローラー・リスト

以下のリストはNord Pianoのフロント・パネルにあるすべてのノブ、ボタンに対応するMIDIコントローラー・ナンバーの一覧です：

Nord Pianoパラメーター	MIDIコントローラー
Piano Type	12
Piano Model	44
Clav Model	45
Kbd Touch	33
Mono Output	83
Acoustic Model String Resonance	79
Acoustic Model Pedal Noise	78
EQ On/Off	115
EQ Treble	113
EQ Mid	116
EQ Mid Freq	117
EQ Bass	114
Effect 1 Rate	63
Effect 1 Type	60
Effect 1 On/Off	69
Effect 2 Rate	62
Effect 2 Type	61
Effect 2 On/Off	80
Amp/Comp Amount	111
Amp/Comp Sel	81
Amp/Comp On/Off	86
Reverb Wet/Dry	102
Reverb Sel	96
Reverb On/Off	97
Sustain pedal	64
Soft pedal	67
Sostenuto pedal	66

MIDIインプリメンテーション・チャート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル		1-16	1-16	
デフォルト・チャンネル		1-16	1-16	
モード	デフォルト メッセージ その他	Mode 3 ×	Mode 3 ×	
ノート・ナンバー	トウラー・ボイス	0-127	0-127	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○、v=1-127 ○、v=1-127	○、v=1-127 ○、v=1-127	
アフター・タッチ	キー チャンネル	× ×	× ×	
ピッチ・ベント		×	×	
コントロール・チェンジ		○	○	
プログラム・チェンジ		○、0-127	○、0-127	
トウラー・ナンバー				
システム・エクスクルーシブ		○	○	
システム・コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
システム・リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
AUXメッセージ	ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブ・センス リセット	× × × ×	× × × ×	
ナンバー	トウラー・ボイス			

Mode 1: Omni On, Poly - Mode 2: Omni O, Mono - Mode 3: Omni Off, Poly - Mode 4: Omni Off, Mono - O = Yes - X = No

Model: Nord Piano OS v1.x Date: 2010-04-02

10 仕様

Nord Piano仕様

一般

88鍵、ウェイトド・ハンマー・アクション

ピアノ・セクション

- カテゴリー(ピアノ・タイプ):6種;グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ、エレクトリック・グランド、クラビネット、ハーブシコード
各カテゴリーに複数の異なるモデルを搭載
- 液晶ディスプレイ:プログラム名、ピアノ・モデル等の情報を表示
- プログラム:120プログラム(5プログラム×24バンク)
- ライブ・モード:ライブ・プログラム×5
- トランスポーズ(パネル):±6半音
- グローバル・トランスポーズ:±6半音
- 同時発音数:40~60ボイス
- キーボード・タッチ:4種のペロシティ・レスポンス・カーブを搭載
- モノ・アウトプット:ステレオ動作(ピアノ・サウンド、エフェクト)をモノラルに変更可能

メモリー

- 最大約500MB(ピアノ・サウンド用)

エフェクト・セクション

- エフェクト1:パン、トレモロ、オートワウ、パンとトレモロはデプス3段階、RATEノブ装備
- エフェクト2:フェイザー、フランジャー、コーラス、デプス3段階、RATEノブ装備
- コンプ/アンプ:3種のアンプ/スピーカー・シミュレーション、コンプレッサー、DRIVEノブ装備
- リバース:6種のアルゴリズム:Room1&2、Stage1&2、Hall1&2、DRY/WETコントロール装備
- 3バンドEQ:ベース(100Hz)、ミッド(200Hz~8kHz可変式)、トレブル(4kHz)、各バンド±15dB

接続端子

- オーディオ出力L/R:1/4インチ標準ジャック、アンバランス
- モニター入力:ミニ・ステレオ・ジャック
- ヘッドフォン出力:1/4インチ・ステレオ・ジャック
- ピアノ・ペダル入力:1/4インチ・ジャック、付属のNord Piano Pedalまたは市販のモーメンタリー・ペダルをご使用下さい。
- MIDI:イン、アウト
- USB:タイプBコネクター
- 電源コネクター

外形寸法

- Nord Piano:1,284mm(W) x 340mm(D) x 121mm(H)
- Nord Piano Pedal:264mm(W) x 224mm(D) x 70mm(H)

重量

- Nord Piano:18kg
- Nord Piano Pedal:2kg

仕様は予告なく変更する場合があります。

11 索引

英文字

EQ 15
MIDIアウト 7
MIDIイン 7
MIDIインジケータ 12
MIDIコントローラー・リスト 26
MIDIチャンネル 16
MIDIメニュー 16

ア行

アウトプットL 7
アコースティックス 14
アップ/ダウン・ボタン 12
アップロード 20
イグジット 23
インバート・セレクション 23
エディット 9
エフェクト 10、14
オート・パン 15
オート・ワウ 15

カ行

キーボード・タッチ 14
コーラス 15
クラビネット 13
クリーン・デリーテッド・スペース 23
グローバル・トランスポーズ 16
コンプレッサー 15
コントロール・チェンジ 16

サ行

サイズ 23
サウンド・アップ 21
サウンド・アップロード 22
サウンド・ダウン 21
サウンド・メニュー 17
システム・メニュー 16
シフト 12
シフト・ボタン 6
ストア 9、12

ストア・アズ(別名で保存) 12
ストリング・レゾナンス 14
ストリング・レゾナンス・レベル 17
セレクト・オール 23
センドCC 16
ソステヌート 8

タ行

ダウンロード 20
チャンネル 24
デリート 21、23
転送する 20
トランスポーズ 13
トレモロ 15

ハ行

パーティション・メモリー 24
ハーフ・ペダリング 8
バックアップ 22
パニック 13
バンク・アップ 22
バンク・アップロード 22
バンク・ダウン 22
バンク・ダウンロード 22
ピアノ 13
ピアノ・タイプ 13
ピアノ・ペダル 8
ファイン・チューン 16
ファクトリー・プリセット 4
フェイザー 15
フォーマット 23
フランジャー 15
プログラム 12
プログラム・チェンジ 16
プログラム・メモリー 9
プログレス・バー 24
ペダル・メニュー 17
ペダル・ノイズ 14
ヘッドフォン 7

マ行

マスター・レベル 12
メモリー・プロテクト 9、16
モデル 13
モニター・イン 7
モノ 14

ラ行

ライブ 10
ライブ・モード 13
リネーム 21、23
リバーブ 15
レストア 22
ローカル 16
ローカル・コントロール 16
ロケーション 23

ワ行

ワウワウ 15

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です
This Product is only suitable for sale in Japan.
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03 (5355) 5056

● サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12
TEL: 03 (5355) 3537

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
WEB SITE: <http://www.korg.co.jp/KID/index.html>

KORG

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>